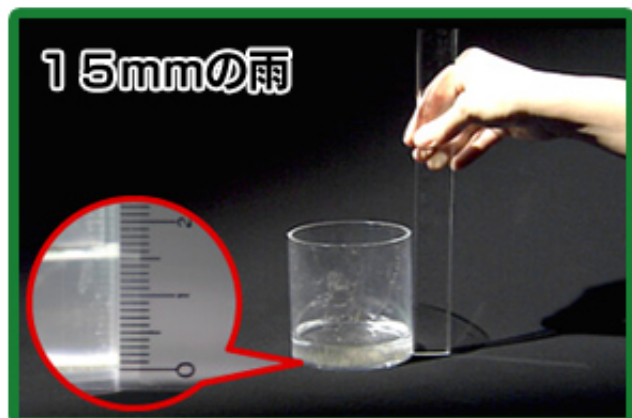
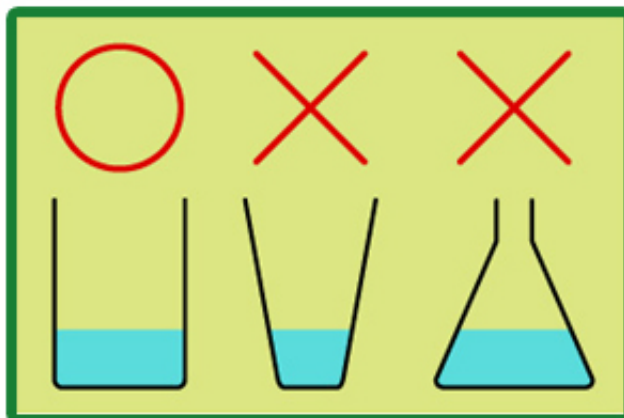


雨の量をはかるには？

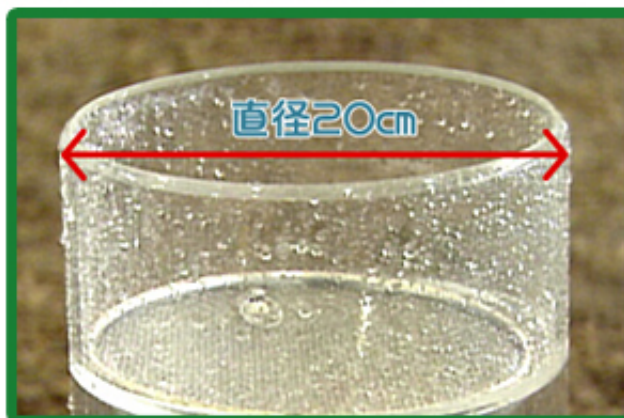
まず、図の様なとう明な容（よう）器を雨の中に置きます。この時、容器の大きさに決まりはありませんが、上の面と下の面の面積が同じものを用意しましょう。



雨の中に一時間置いて貯まった水の高さを物差しで測（はか）ります。

もし、1.5センチメートルたまっていれば、その時の雨の量は一時間に15ミリだと言えます。

写真は気象ちようが実際（さい）に雨の量を測るのに使っているそう置の中です。直径20センチの面積にふる雨をあつめて一度5ミリリットルのマスで受けます。



マスがいっぱいになると、水の重さでマスがかたむき水を外にすてます。水をすてる回数を数えて水の量を測ります。一時間におよそ60回水をすてたときの雨は10ミリの雨です。

